



PROFILE

1979年大分県生まれ。千葉大工学部情報画像工学科から、2005年同大学院修士課程卒。在学中の03年6月千葉大生が地域でパソコンを教える学生サークル「TRY WARP」を5人で発足。04年1月NPO法人に。06年2月西千葉コミュニケーションサイト「あみっぴい」のシステムを開発、運営。07年4月SNS制作会社「トライワーブソリューションズ」設立。

<http://trywarp.com/>

1979年大分県生まれ。千葉大工学部情報画像工学科から、2005年同大学院修士課程卒。在学中の03年6月千葉大生が地域でパソコンを教える学生サークル「TRY WARP」を5人で発足。04年1月NPO法人に。06年2月西千葉コミュニケーションサイト「あみっぴい」のシステムを開発、運営。07年4月SNS制作会社「トライワーブソリューションズ」設立。

別の最新技術は必要ない。自分に  
あるものを生かす起業だつてあ  
る」と知り、就職活動を打ち切り、  
資本金0円、学生5人で「創業」  
した。地域の経営者たちの温かい  
応援も得て、成長してきた。  
「クリックできない、マウスが使  
えない」という人に教えられるの  
は、地域でこそ。パソコンが苦手  
な学生に向いています。大事なの  
は、教えることではなくて、受講  
生がパソコンで苦労しているとき  
『できてるじゃないですか』と一  
緒に喜べること』  
暮らしやすい地域を全国に  
今、この「西千葉モデル」が全  
国に広がるうとしていく。マイク  
ロソフトの「NPO支援プログラ  
ム」に選ばれ、秋田、新潟、長野、  
神奈川、兵庫などで展開するため、  
それぞれの地域グループと交流を  
始めた。9月に「日経地域情報化  
大賞2008インターネット協会  
賞」を受賞、さらに全国から注目  
が集まっている。  
「パソコンは車と同じ生活必需品。  
トラブルで困ったら、いつでも相  
談できるところが地域にあれば安  
心して、暮らしやすくなる。苦手  
意識を解消して、人間関係が豊か  
になるお手伝いをしたい」

**key**  
キーパーソン  
トライワーブ  
NPO法人TRYWARP  
代表理事  
**虎岩雅明**さん  
(とらいわ・まさあき)  
文・写真＝稲沢裕子

「街で『こんにちは』と声をかけ  
合える人を1人でも増やしたい」  
――「千葉大パソコンサポーター  
ズ」は5年前、そんな思いから生  
まれた。千葉大の学生が先生とな  
り、地元の初心者にパソコンを教  
えることを通じて知り合いを増や  
し、暮らしやすい街にしていく。  
名付けて「パソコンコンプレック

困らないように、受講生が持ち込  
ス解消大作戦」。  
半年で基本操作をマスターする  
「超入門コース」は36期を迎え、  
受講者は延べ1万5000人を超  
えた。40～60代中心で最高齢は94  
歳。女性が6割と多く、堂本曉子  
千葉県知事も受講中だ。学生は、  
千葉大の全学部、全学年から参加  
している。正会員38人は月額20  
00円の会費を払う。責任を持つ  
て活動に参加してもらったためだ。  
ほかにアルバイトが約100人。  
講習で使うパソコンは、自宅で

## 大学生がパソコン支援 広がる街の世代間交流

む。どのパソコンを買ったらい  
かわからない人のために店まで同  
行する「購入ツアー」があり、困  
ったときに自宅に向く「出張サ  
ポート」、よろず相談に応じる  
「パソコンなんでも相談会」など、  
手厚いサポート体制を敷く。  
さらに、受講生が講座修了後も  
パソコンに触る機会を作ろうと、  
2006年にオープンソースを基  
に自前でSNS「あみっぴい」を  
開設した。開設当初は学生の登録  
を禁止し、実名ルールを徹底した。  
「トビ」「レス」などインターネッ  
トだけの用語は使用禁止、現実社  
会とリンクしたコミュニティを  
目指す。現在は学生も含めて約2  
700人が世代を超えて交流し、  
地域の絆を深めている。

NPO設立のきっかけは、千葉  
大在学中に企画したイベントで地  
元商店街の協力を仰いだら、街で  
あいさつする人が一気に増えたこ  
と。大学4年間を過ごすだけで卒  
業と同時に街と縁を切ってしまうの  
か、自問した。「ベンチャーに特  
別な最新技術は必要ない。自分に